

サプライチェーン・マネジメント

お客様に高品質な製品を安定供給するためには、サプライチェーン・マネジメントが重要です。ダイキンでは、すべての取引先様と強い信頼関係の中で、共に成長・発展する関係を作り上げるとともに環境、品質、労働安全、人権などのCSRにも配慮したサプライチェーンの構築に取り組んでいます。

Why? なぜ重要か

サプライチェーンが世界各地に広がり、途上国を中心とする児童労働や強制労働などの人権問題や労働安全衛生など労働上の問題、環境破壊などが問題視されるようになりました。また、こうしたサプライチェーン上の問題がある企業に対する不買運動などによって環境や社会的な課題を解決しようとする傾向も高まっています。企業は、自社のみならず、そのサプライチェーンも含めてCSRの取り組みを強化していく必要があります。

DAIKIN'S POLICY

ダイキンでは、1992年に購買基本方針を制定し、取引先様との公正な取引に努めています。

グループ内にとどまらず、サプライチェーン全体を当社の社会的責任の範囲と捉え、サプライチェーンCSR推進ガイドラインを定め、サプライチェーンにおける環境、品質、労働安全、人権などのCSR取り組みを推進しています。

CSR調達の推進

サプライチェーンCSR推進ガイドラインの施行

ダイキンは、サプライチェーンにおける環境、人権、労働面などでのCSR取り組みを推進しています。

2017年4月、サプライチェーンCSR推進ガイドラインを策定しました。これは事業の安定的な継続・成長に向け、取引先様を含めたCSR推進のためのガイドラインです。経営や法令遵守などの一般的な要求に加え、環境、品質、労働安全、人権、紛争地域との取引禁止など、CSR全般に渡って取り組んでいくことを、取引先様にお願いしています。

2017年度は、取引先様間の情報共有や異業種交流を目的とした「空調協力会」に参加する日本国内の取引先様34社を対象に、CSR推進ガイドラインを説明し、協力をお願いしました。



「空調協力会」でのガイドライン説明

取引先様との連携

取引先様の品質向上、人材育成を支援

お客様に信頼いただける製品を提供するためには、取引先様の協力が欠かせません。ダイキンは、すべての取引先様と強い信頼関係の中で切磋琢磨しながら、それぞれの立場で互いの期待に応え続け、共に成長・発展する関係づくりに努めています。国内外の拠点では、定期的に取り先様の生産現場における品質監査の実施や、品質改善に関する対話など取引先様と連携した品質向上に努めるとともに、技術力の向上を支援しています。また、安全に関する会合を定期的で開催するなど、労働災害の未然防止を支援しています。

例えば、ダイキンインダストリーズタイランド社では、品質向上に関する知識や技術を習得するための研修会を開催し、2017年度は170社が参加しました。さらに、トップマネジメントが取引先様を訪問し、品質改善状況をレビューする「品質パトロール」を実施しています。



取引先様対象の研修会